イスラエルのための祈り
戦場の向こう側パート1

26年11月15日恵比寿BF





オズ・ヴェ・ルアハ חורו זוע（強さと霊）

עוז ורוח
גבורה שממשיכה קדימה



ヨアヴ（「ポリ」）・モルデカイ退役少将

設立の経緯と目的

・負傷したイスラエル国防軍（IDF）と治安部隊の要員が職場に復帰、雇用を確保できるよう支援

・就労が　リハビリテーションと人生の再建に不可欠という信念に基づき、個別指導、専門的な訓練、雇用主との直接的なつながりを提供

負傷兵のリハビリテーション

「負傷した兵士が病院を退院した時点でリハビリが終わるわけではない」

「国家は国を守るために最も優秀な息子や娘たちを送り出した。彼らに対する国家の責任は、心身の治療が完了した時点で終わるものではない」

「真のリハビリテーションとは、生活に戻り、職場に復帰し、生計を立て、未来を築くことができるようになること」

今後の計画



- **1年目:** 約100名
- **2027年:** 約160名
- **2028年:** 約280名
- **最終的な広範な目標:** 約500名に向け拡大

戦争開始以来、2万6,000人以上の負傷したイスラエル国防軍(IDF)と治安部隊要員が、イスラエルのリハビリテーション制度に

・人工知能(AI)とソフトウェア開発に関する専門家主導の3ヶ月間の研修コース、参加者19名全員が、Amdocs、NICE、Moveo HLS、SolarEdge、NVIDIAなどの企業に就職。

・ハイテク分野以外にも、ITサポート、技術職、医療画像診断などの分野のコースを今後開設予定。負傷した兵士たちが自身の身体的・心理的な状況に適したキャリアを見つけられるよう支援するとともに、持続可能な雇用を提供

イスラエルのための祈り

・国を守るため負傷し帰還した兵士たちが　このような取り組みによって真のリハビリテーションを受けることができるように。

・主はみことばを送って彼らを癒し　滅びの穴から彼らを助け出された。【主】に感謝せよ。その恵みのゆえに。詩107:20、21

・帰還兵士の方々が　戦場から帰還できたのは　【主】が助け出してくださったからだと気付き、困難な状況でも感謝の思いをもちつづけることが　できますように。

主はみことばを送って彼らを癒し　滅びの穴から彼らを助け出された。【主】に感謝せよ。その恵みのゆえに。詩107:20、21

私たちも　困難な状況に置かれた時、【主】が　癒しを与え、助け出してくださるお方であるとの　みことばに立ち続けることができますように。恵みのみわざを【主】に感謝し、主のみわざを語る者とならせてくださいますように。